

○氏名

西内 豊（にしうち ゆたか）

○生年月日

1953年1月18日

○最終学歴、最終卒業年

1975年3月 高知大学農学部林学科卒業

2002年3月 愛媛大学大学院連合農学研究科満期退学

2002年9月 愛媛大学大学院連合農学研究科より博士（農学）授与

○所属機関

高知県工業技術センター

○受賞題目

**高知県産スギ材の利活用による地域産業への貢献**

氏は高知県産スギ材の住宅部材、特に構造用部材への利活用を推進するため、地域の産業界及び大学等関係機関と連携して、スギ材の加工技術に関する研究開発・技術支援に取組み、高知県木材産業の振興に努めた。

まず、地域スギ材の用途開発のため、スギ材の基礎的材質・強度性能を明らかにし、その成果を木材・建築業界対象の講習会等で精力的に発信すると同時に、スギ材の特性を活かした建築部材の製品開発に取組んだ。高信頼性の構造用集成材、接着重ね梁やパネル部材は、地域企業による製造・販売に繋がった。また、スギ材の強度性能に関する研究開発を行う中、木材の「機械的強度等級区分装置」を同県の機械メーカーと共同開発し、（社）全国木材組合連合会から認定1号機として登録された。さらに、開発した部材の普及のために、（社）高知県建築士会や地域の工務店と連携してパネル工法や接合技術等の工法の開発にまで取組み、それらは同県内の一般住宅や公共建築物に実用化された。この一部が高知県地場産業大賞を受賞した。

以上の内容は日本木材学会及び同中国・四国支部会で発表した。氏は現場を重視し、企業の製造現場と直結させる姿勢を一貫させた。なお、建築業界との絆を深めるため、1992年に2級建築士の資格を取得し、高知県建築士会に入会した。2005年から所属機関の所長として、木材関係に加えて機械金属、食品等、幅広く地域産業の振興に貢献している。

○氏名

松岡 良昭（まつおか よしあき）

○生年月日

1951年10月26日

○最終学歴、最終卒業年

1977年3月 京都府立大学農学部林学科卒業

2004年3月 愛媛大学大学院連合農学研究科修了

2004年3月 愛媛大学大学院連合農学研究科より博士（農学）授与

○所属機関

高知県立森林技術センター

○受賞題目

**高知県における木質資源利用に関する研究と普及による地域林産業活性化への貢献**

氏は地域林産業のニーズの動向を把握するとともに、林産業の発展につながる技術イノベーションのための調査研究並びに研究成果の普及を積極的に実施している。

調査研究領域としては、木材乾燥、木材保存、木質バイオマスエネルギー利用、木製品開発等と関連業界から地域公設機関に求められる幅広い分野に真摯に対応している。研究成果の主なものとしては、木製防護柵などの道路関連付属施設や木質バイオマスボイラーの普及があり、平成22年度末現在で、木製防護柵については、施工延長約12km、木質バイオマスボイラーについては導入台数約110台となっている。

当支部研究発表会においては、2000年から木材乾燥や木材保存関係の口頭発表5件、木質バイオマスエネルギー利用や木材保存関係の展示発表3件を自ら精力的に行ってきた。また研究発表会の運営においても、特別講演の企画やシンポジウムの企画兼自らのパネラー参加並びに口頭発表の座長及び口頭・展示発表の審査員の一人としても役割を果たしてきた。さらに、当支部理事として、支部目的達成のための支部活動・事業の計画や円滑な実行に努めてきた。

現在、所属機関の所長として高知県の森林並びに林業、木材産業及び木材関連産業の技術の進歩とそれら産業の振興に貢献している。